

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都中野区

自治体名：東京都中野区

担当課名：指導室

電話番号：03-3228-5545

1.自治体の基本情報

基本情報

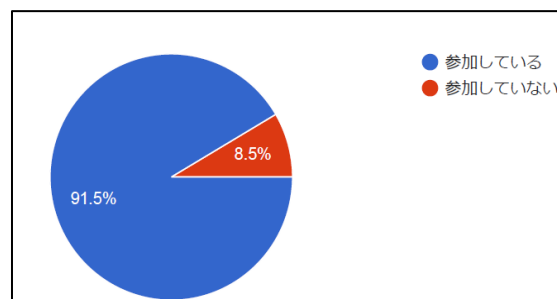
面積	15.59km ²
人口	341,440人
公立中学校数	9校
公立中学校生徒数	3,626人
部活動数	111部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	有
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	有

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

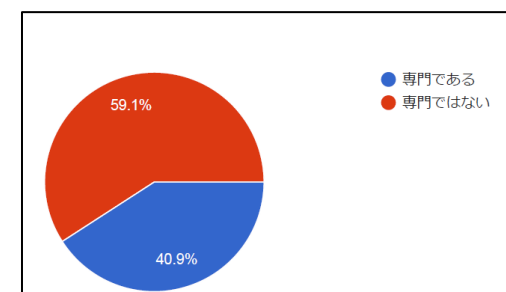
令和6年度には運動部活動が66部、文化部活動が45部が区内にあり、学校部活動に90%以上の生徒が参加している。一方で地域にも野球等のクラブチームが多数存在し多くの生徒が所属している。そのため学校単独でチーム編成ができず、複数の学校が合同で練習や試合を行うことが増えている。また、専門的な指導ができる教員がいないため、生徒が希望する部を存続・設置できない学校が散見される。今後、生徒が希望するスポーツや文化芸術活動に取り組み、専門的な指導が受けられる体制を整えることが望まれている。

また、教員の本務である教材研究や生活指導等の時間を確保するためには、部活動指導や運営に関わる負担を軽減する必要がある。さらに今日において、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教員だけでは解決することができない課題が増えている。そうした課題に対応しながら、部活動を従前と同様の運営体制で行っていくことは難しくなっており、部活動の在り方に関し、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進に向けた改革に取り組む必要がある。

現在、部活動に参加している生徒の割合※



担当している部活動が専門の種目や分野である教員の割合※

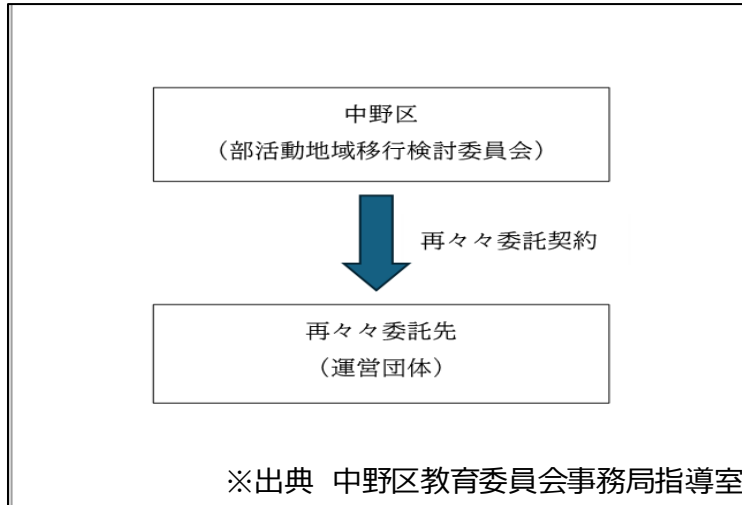


※出典 中野区教育委員会事務局指導室

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・部活動地域移行の計画策定・推進
- ・学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインの策定

◎首長部局

- ・活動場所の管理・運営、確保、優先利用等の調整
- ・中野区体育協会など地域の関係団体との連携
- ・地域スポーツクラブ活動の取組を生かし、将来にわたり生徒がスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保・環境の整備

年間の事業スケジュール

令和6年4月	・部活動地域移行参加希望者の区立中学校向け需要数調査 ・部活動実施計画及び指導計画の策定
令和6年5月	・部活動地域移行参加希望者の保護者説明会及び募集
令和6年7月	・部活動地域移行モデル事業実施 ・第1回部活動地域移行検討委員会
令和6年8月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和6年9月	・部活動地域移行モデル事業実施 ・第2回部活動地域移行検討委員会 ・第3回部活動地域移行検討委員会
令和6年10月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和6年11月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和6年12月	・発表会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	1人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ダンスクラブ	民間事業者	ダンス（新）	全8回	9時～17時 (内2時間)	中1：10名 中2：12名 中3：6名	7月～12月	区内スポーツ・コミュニティプラザ3か所	3人	1人	なし	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

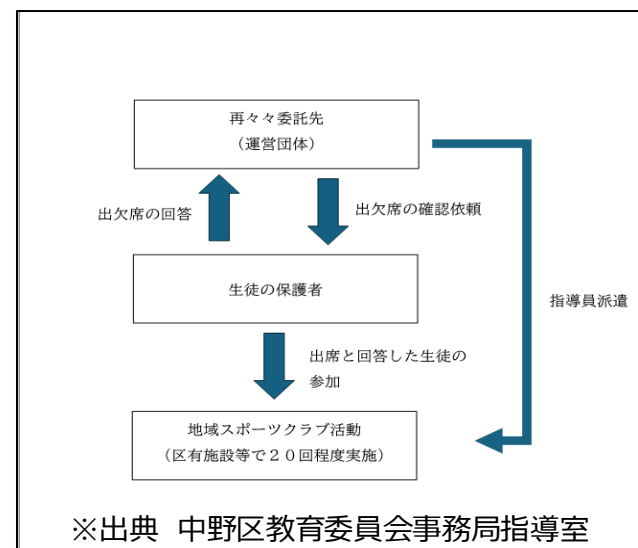
- 各区内スポーツ・コミュニティプラザに所属する生徒たちによる合同発表会を12月に実施した。

主な取組例

●ダンスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ダンス
運営団体名	株式会社東京アスレチッククラブ
期間と日数	6月～12月 月2回程度
指導者の主な属性	インストラクター
活動場所	区内スポーツ・コミュニティプラザ3か所
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	なし
1人あたりの保険料	賠償責任保険 生徒1人あたり：105円/年 団体総合補償保険 生徒1人あたり：268円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者 1名

役割：中野区及び学校との連絡調整、部活動指導員の統括、年間指導計画の作成・提出、部活動指導計画書の確認・取りまとめ・提出、大会等への参加に伴う事務、活動中止の判断、活動中の事件・事故への対応及び報告等

●指導者 3名

役割：部活動の指導、事件・事故への初期対応及び報告、責任者及び他部活動指導員との連絡調整、部活動指導計画書の作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

委託事業者が統括責任者を1名し、生徒等の地域スポーツクラブ活動の開催等の連絡・出欠席の調整を行う。また、指導員を派遣し、指導にあたらせる。懸念事項や改善事項を行政に報告し、部活動地域移行検討委員会（中野区の部活動地域移行の計画策定等を実施）にフィードバックし、次年度以降の運営に活用していく。

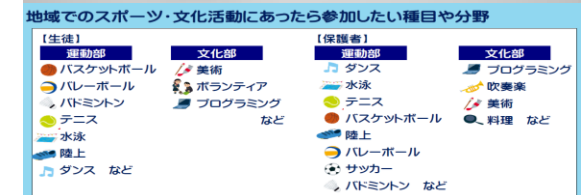
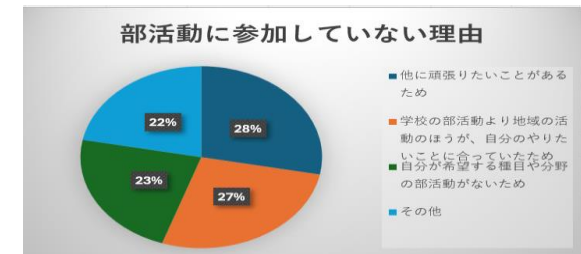
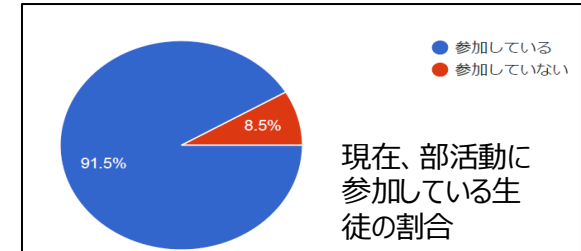
取組の成果

中野区立中学校在籍の生徒、保護者にアンケートを実施したところ、生徒1,036名、保護者416名から回答があった。

回答があった生徒の中で88名が部活動に参加しておらず、その理由として26名が自分が希望する種目や分野の部活動がないと回答していた。その中で作ってほしい部活動として、生徒19名、保護者24名がダンスを希望していた。

そういった生徒や保護者の意見を生かしてダンス部を立ち上げ、全9中学校から計28名が参加するなど、生徒・保護者の意見を生かした新たな活動の選択肢を提供することができた。

また、委託業者に統括してもらうことで、行政主導地域クラブ活動として部員の募集、運営、指導、発表までの部活動としての一連の流れを、教員が関わることなく運営することができた。



※出典 中野区教育委員会事務局指導室

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 適切な指導員を確保・派遣し、指導にあたらせることができた。
- 地域スポーツクラブの会場の確保のための連絡・調整を行った。
- 生徒への連絡・当日の出欠席の管理を行った。
- 報告書を作成し、活動内容や活動の様子を毎週行政に報告した。
- 生徒のニーズを聞き取り、次年度以降の運営に生かした。

今後の課題と対応方針

- 生徒のニーズに応じたジャンルのダンス指導者の確保のため、地域のダンスクラブ等との連携も検討していく。
- 安定した場所の確保のため、今年度は地域のスポーツコミュニティプラザで実施したが、学校での活動も検討していく。
- 生徒への効率的な連絡手段の確保するため、アプリの導入を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

当該委託契約に指導経験の有無を指導員の要件としてあげ、指導経験豊富な指導員が派遣されている。また、指導方法やメンタルヘルスケア等の研修を委託業者の側で受講させることも定めており、指導者の質の保障・量が確保されている。

種目	資格有無
ダンス部	あり

取組の成果

地域のスポーツクラブに指導者の確保を依頼した。人材の確保については、すでに委託先のスポーツクラブでダンスを教えているインストラクターを募集し、中学生に向けたティーチングを実践できる人材が派遣された。また、当該スポーツクラブと人材派遣契約を結んでいる一般社団法人からの紹介で、ダンスのティーチングに実績のあるインストラクターが派遣され、中野区の部活動地域移行に従事いただいた。

また、委託契約の中で研修の実施を盛り込んでいることから、メンタルヘルスケアや中学生向けのティーチングについて、委託事業者から各インストラクターにあらためて研修を実施してもらうことで、インストラクターの質の向上にも寄与できた。

このようにして、中学生への指導経験が豊富な質の高い指導者を、人材バンク等に頼らずに確保することができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

委託業者にて下記を指導員に実施。

- ・基礎・専門研修：部活動の指導者としての基礎的知識及び生徒への指導のためのノウハウの習得。
- ・専門研修（専門科目）：種目別の指導方法の習得。
- ・自然災害への対応：防災準備や災害発生時の対応についてのノウハウの習得。
- ・けが防止、救急救命・救護：部活動中の受傷事故防止及び救命処置等に関する知識の習得
- ・防犯：平時における、校内外での生徒の安全確保についての知識の習得
- ・コンプライアンス・ハラスメント：生徒・保護者らとの適切な関係構築、体罰防止等に関する知識の習得
- ・メンタルヘルスケア：生徒の心の変化、精神面への対応、いじめ防止等に関するノウハウの習得
- ・個人情報保護：個人情報の適切な管理についての知識の習得

指導者研修の参加実績

- ・開催日：6月19日
- ・開催回数：1回
- ・参加人数：7人

事業概要、休日部活動の経緯（スポーツ庁ガイドラインより）、中野区の目的等方針、業務内容、スケジュールの確認、報告連絡体制、安全管理、その他部活動における相互確認事項

受講者の声

- ・大変わかりやすい。
- ・指導のノウハウが分かり、より指導がやりやすくなった。

今後の課題と対応方針

令和6年度に事業を実施した経験を踏まえて、より部活動地域移行に即した研修を展開できるよう、内容を充実させていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

中野区内の関係団体との連携を強化して、スポーツ少年団や地域の競技団体と協力できる体制をつくる。

取組の成果

令和7年度に向けて当区に活動基盤を持つダンスグループの指導も委託事業者経由で依頼できるようになった。部活動地域移行の委託を推進するにあたり、他の部活動に対象を拡充しても、地域に根差したスポーツクラブや関係団体へアプローチし、質の高い指導員を確保できる実績ができた。

ダンスグループの参加で部活動で教えられるダンスの幅が広がり、より子供たちが率先して参加できる魅力ある部活動地域移行事業に体制を整えられた。

このようにして、委託事業者のみならず、地域の人材や団体を活用し、部活動地域移行を推進できる土壌が養われた。

バス等の運行実績

なし

今後の課題と対応方針

ダンスグループの傘下により、参加人数の増加が見込まれるため、より広い活動場所の確保が求められる。そのため、活動場所を確保するために、区長部局と調整するなどして、地域資源をより活用していく必要がある

ダンスグループの指導方法の策定やより部活動の指導を充実させていく方針を決めていく。また、その策定された指導方法が、子どもたちのニーズに即したものを判断していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

区立中学校だけでなく、区内私立中学校との合同部活動の実施について検討している。

各自治体の役割

ステークホルダーとの連絡調整及び実施内容の策定

移動手段

自転車及び徒歩を想定している。

事務局運営の方法

自治体主導のうえ、区立中学校の管理職等と運営していく。

取組の成果

来年度に実施する部活動地域移行事業について、区立中学校だけでなく、私立中学校の施設や設備も活用できないか検討している。

また、区有施設の利用ができないか区長部局とも調整し、より広い活動場所の確保を検討している。

今後の課題と対応方針

実際に、私立中学校の設備等を活用できるかを調整していく必要がある。相手方管理職との折衝を重ねていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

令和6年度はダンス部の練習を区有施設3か所で実施し、その成果を披露することを目的に、合同発表会も実施した。

活動の詳細			
参加人数	28人	指導者数	3人
属性	インストラクター		
具体的な内容	令和6年度はダンス部の練習を区有施設3か所で8回ずつ（計24回）実施し、合同発表会を1回実施した。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 今まで学校になったダンス部ができてうれしい。 ● いろいろな学校の生徒と一緒にできるのは楽しい。 ● 専門的な先生に教えてもらえるのがいい。 ● もっと違うジャンルのダンスも取り組みたい。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校に負担なく進めてもらったのでよかった。 ● 活動費を区が負担してくれたので、一般的な部活動と同じく参加しやすかった。 ● 他の部活動でも地域展開を進めてほしい。 ● 来年度はもっと回数を増やして、発表会なども設定して生徒が他の部活動と同じように参加できるようにしてほしい。 		
運営経費	委託費 1,080,442円		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

参加している生徒に聞き取りを行ったところ、今回のダンスクラブの活動に満足している生徒がほとんどであった。発表会も委託業者の施設で行えたことで、充実感や達成感を味わうことができた。

一方、ほとんどの生徒がもっと活動日数を増やしてほしい、約半分の生徒から違うジャンルのダンスを練習したいという声があったため、次年度に向けて改善していく。

今後の課題と対応方針

生徒の技術向上には回数が多いという課題が判明した。令和7年度は区内2エリアにある区有施設で20回ずつ（全40回）実施し、発表会を2回開催する。また、発表会の開催は生徒が一堂に集まる文化発表会等で開催することを想定し、生徒がより練習に打ち込める環境を整えていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

令和6年度について、モデル事業を実施しているということから、参加費用負担はない。

地域クラブに係る経費

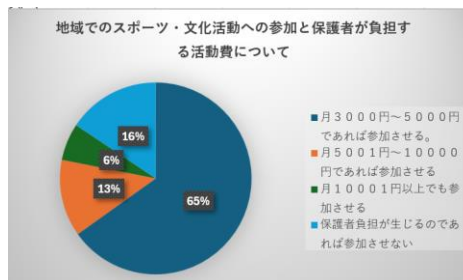
■イニシャルコストの分析

委託費の中に、保険料を含めており、地域移行に係る契約締結から後部活動開始前に保険契約を締結する必要がある。

■ランニングコストの分析

委託費の中に、指導員報酬及び統括責任者報酬が含まれており、部活動完了ごとに指導員報酬を支払っている。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

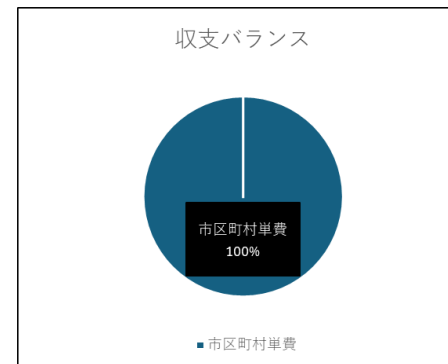


※出典 中野区教育委員会事務局 指導室

保護者アンケートでは月3,000円～5,000円であれば参加させるという回答が多く、約65%だった。

一方、今回の規模であってもすべてを受益者負担とすると一人当たり約35,000円となり、大きな負担をお願いすることになるため、課題が大きい。

収支バランス



※出典 中野区教育委員会事務局 指導室

令和6年度は、中野区が全額負担しており、参加者の費用負担はない。そのため、収入はなく、支出で市区町村単費が100%となっている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

今回はすべての参加費用を区が負担した。そのため、生徒・保護者は移動に関わる費用のみで参加することができたため、多くの参加者が集まった。

今後の課題と対応方針

指導員報酬が無料である学校部活動と異なり、行政主導地域クラブ活動では指導員報酬及び統括責任者報酬を支払う必要がある。また、保険についても別途加入するなど、今回の中野区ダンスクラブのモデル実施を通して、どれぐらいの費用がかかることが明確になった。

今後、学校部活動と行政主導地域クラブ活動、民間地域クラブ活動へ参加する生徒・保護者の負担の差をどう考えていくか、どこまでを支援し、受益者負担を依頼するかが大きな課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

平日部活動及び文化部の地域移行の実施を検討している。

取組の成果

令和7年度以降に向けて、平日部活動及び文化部の地域移行の実現可能性を検討した。平日部活動の学校の関わり方やどの文化部を実施するかを議論した。

指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性
実施する部活動において資格や指導経験が豊富な指導者
- ・配置の工夫
区内の協議会等地域資源の活用を検討している。

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

特になし。

今後の課題と対応方針

平日部活動を実施するにあたって、学校と部活動の関わり方をどのようにしていくべきか、生徒がやってみたい部活動のニーズを発見し、文化部の地域校を展開していく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

生徒の要望があったことから、中野区立中学校の部活動にはなかったダンス部を民間委託で実施した。

区内スポーツ・コミュニティプラザにて部活動を開催し、合同発表会を目標に設定したことで、生徒の部活動へのモチベーションを醸成できた。一方で、月1～2回程度の部活動の開催というところで、生徒の技術向上の機会をあまり確保できなかったことは、令和7年度以降の事業実施に向けて改善していく必要がある。また、休日に部活動を開催しているため、元々の部活動の実施回数が少ないことも相まって、生徒のスケジュールとうまく調整できず、参加者が少なくなる事態もあった。こちらについても、部活動の回数を増やすなどして、部活動の参加人数を増やしていくことが求められる。

●成果の評価

区立中学校にないダンス部を創部することで、子供たちのニーズに応えることができた。一方で、事業開始初年度ということもあり、子どもたちが満足いく部活動実施回数を提供できなかったなど、子どもたちの部活動をより良くしていくための改善点があった。また、参加人数もまだ増やせる余地があり、子どもたちが参加したいと思える魅力ある部活動の広報も重要であることを把握できた。

今回の事業実施をもとに、より良いダンス部の活動につなげていきたい。また、今回のノウハウを活かし、他の部活動も実施できるように体制を構築していかなければならない。

●今後に向けて

生徒は楽しそうに練習や合同発表会に参加していたため、区立中学校にない部活動を実施する意義は大いにあったように思える。中野区として、部活動地域移行をより拡充し、生徒たちが参加しやすく、楽しめる部活動の環境整備を実現していく必要がある。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

アンケートは実施していないが、参加者や指導者に直接、部活動への感想や振り返りを聴取した。

●参加者の声

中学2年生

いろいろな学校の生徒と一緒に活動できて楽しかった。ただ、ダンスがバレエみたいだったので、もっとヒップホップなどのジャンルのダンスにも挑戦したかった。

中学1年生

学校の部活動にやりたい種目の競技がなかったので、今回、ダンス部ができてやりたいと思って参加した。楽しかったので、年間8回ではなく、もっと回数を増やしてほしい。

指導者等

もっと回数が増えると、生徒たちも部活動のような活動へのモチベーションが上がるので、活動の回数を増やしてほしい。

指導者等

クラブとして目指す目標（中野区文化発表会での発表）を設定できると子どもたちも意欲的に取り組むことができると思う。

アンケート結果・広報資料

中野区における地域連携・地域移行の取組について、ニュースレターを作成し、学校・生徒・保護者に周知を行っていた。

Let's Dance! Newsletter Vol.4

Nakano Dance Club

令和6年度の参加者募集!

鷺宮スポーツ・コミュニティプラザ 15:30~17:30

① 7月15日(月) ② 7月21日(日)
 ③ 8月12日(月) ④ 8月18日(日)
 ⑤ 9月16日(月) ⑥ 9月29日(日)
 ⑦ 10月20日(日) ⑧ 11月4日(月)

中部スポーツ・コミュニティプラザ 11:45~13:45

① 7月6日(土) ② 7月20日(土)
 ③ 8月24日(土) ④ 9月14日(土)
 ⑤ 9月28日(土) ⑥ 10月12日(土)
 ⑦ 11月16日(土) ⑧ 11月23日(土)

南部スポーツ・コミュニティプラザ 9:30~11:30

① 7月21日(日) ② 7月27日(土)
 ③ 8月24日(土) ④ 9月14日(土)
 ⑤ 9月28日(土) ⑥ 10月26日(土)
 ⑦ 11月9日(土) ⑧ 11月30日(土)

休みの日に運動したい。
 ダンスにチャレンジしてみたい。
 いろいろな学校の子と交流したい。
 そんな中学生のためのダンスクラブが
 スタートします!

活動場所

鷺宮スポーツ・コミュニティプラザ
 中部スポーツ・コミュニティプラザ
 南部スポーツ・コミュニティプラザ

申し込みはこちら▶

<https://forms.gle/EVcmFghPDlbZJbHK8>

▶第一次募集【5月31日(金)まで】

▶一人につき1施設の活動のみ参加可能です。
 ▶お申し込みをされた方は、可能な限り全8回の参加をお願いします。
 ▶各施設とも先着の30名までとさせていただきます。
 ▶活動費・保険料は区で負担します。移動にかかる費用は各自の負担です。
 ▶お問い合わせ: front@tac-sports.co.jp

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:中野区教育委員会事務局指導室

部活動の地域連携・地域移行

～生涯にわたりスポーツ・文化芸術に親しめるまち なかの～

2023年11月
ニュースレター No.2

部活動の地域連携・地域移行に関するアンケート結果

令和5年10月に実施した「部活動の地域連携・地域移行に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。生徒1036名、保護者416名からご回答いただきました。

結果の一部をご紹介します!

専門的な指導

今後、資格のある指導者から専門な指導を受けたいと思いませんか。

【生徒】	【保護者】
思う 40.8%	思う 65.1%
やや思う 33.4%	やや思う 37.5%
あまり思わない 15.6%	あまり思わない 7.7%
思わない 10.1%	思わない 1.4%

参加したい活動

地域でのスポーツ・文化活動について、どのような活動に参加したいと思いませんか。

【生徒】	【保護者】
同じ種目や分野を深める 39.7%	同じ種目や分野を深める 53.8%
季節ごと異なる種目や分野 19.8%	季節ごと異なる種目や分野 17.8%
高い記録・成績を目指す 24.8%	高い記録・成績を目指す 16.3%
レクリエーション志向 15.7%	レクリエーション志向 12.0%

部活動の地域連携・地域移行への不安

地域でのスポーツ・文化活動になった場合、どのような心配がありますか。

【生徒】	【保護者】
指導者が先生ではないこと 34.7%	指導者が先生ではないこと 25.7%
活動場所への移動の負担 45.3%	活動場所への移動の負担 82.5%
参加メンバーとの関係づくり 55.0%	参加メンバーとの関係づくり 33.7%
大会・発表の場の確保 19.8%	大会・発表の場の確保 17.3%

【アンケート結果】

出典:中野区教育委員会事務局指導室

地域でのスポーツ・文化活動にあつたら参加したい種目や分野

【生徒】	【保護者】	【保護者】	【保護者】
運動部 ● バスケットボール ● ハレーボール ● バドミントン ● テニス ● 水泳 ● 陸上 ● ダンス など	文化部 ● 美術 ● ボランティア ● プログラミング など	運動部 ● ダンス ● 水泳 ● テニス ● バスケットボール ● 陸上 ● ハレーボール ● バドミントン など	文化部 ● プログラミング ● 吹奏楽 ● 美術 ● 料理 など

このほかにもたくさんのご意見をいただきました。ご協力、ありがとうございました！皆様からいただいた、ご意見を参考に、部活動検討委員会でも中野区の学校部活動の地域連携・地域移行について検討していきます。

中野区の部活動検討委員会について

目的

- 令和7年度末までに、中野区内全ての公立中学校で、地域中学校の実態に応じ、学校の部活動の地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指す。
- 生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するため、学校部活動の地域移行・地域連携の在り方等についての検討を行う。

協議会の構成員

帝京平成大学教授、早稲田大学教授
 中野区立中学校校長、副校長、主幹教諭、主任教諭
 中野区教育委員会、中野区文化振興・多文化共生推進課、中野区スポーツ振興課

主な検討事項

- 中野区の学校部活動の現状分析・共有
- 部活動の地域連携・地域移行における課題抽出
- 中野区に合った部活動の地域連携・地域移行の進め方の検討
- 休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行の計画策定やスケジュール案を作成
- 新たな地域クラブ活動の整備に向けた検討

など、部活動改革に向けて現場の教職員と区役所職員、教育委員会が連携して検討を進めています。

問合せ先: 中野区教育委員会事務局指導室 03(3228)5589

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ダンス練習】



【ダンス練習】



【統括責任者によるオリエンテーション】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

部活動検討委員会設置、検討開始

中野区として目指す「部活動の地域連携・地域移行」の方向性の検討

令和5年

アンケートによる実態調査部活動検討委員会での分析

・実施種目の決定
・委託業者の選定
・学校、生徒、保護者への周知

令和6年

行政主導地域クラブ活動の開始

令和7年

行政主導地域クラブ活動の拡充

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校

●経過

中野区の実態に合った部活動の地域連携・地域移行を進めるための方向性の検討の実施

●実施にあたって生じた課題

・中野区の部活動における実態の調査が必要であること

●実施内容、工夫した点等

以下の3点を主に協議した
・中野区の部活動の地域移行の形
・中野区の活用できる人的資源
・部活動の地域移行における課題
区内の関係者の今後の連携体制の基礎を築くことができた。

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校、地域のスポーツクラブ（東京アスレチッククラブ）

●経過

アンケートの内容等を部活動検討委員会で検討し、実施した。

そのアンケート結果をもとに部活動の地域連携・地域移行モデル実施種目を決定した。

●実施にあたって生じた課題

指導者や活動場所の確保

●実施内容、工夫した点等

・部活動実態調査アンケートの実施
・アンケート結果を受けての中野区の実態の検討
・スポーツ振興課を通して指導者、活動場所の確保に向けて地域のスポーツクラブとの連携を図ることができた

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校、地域のスポーツクラブ（東京アスレチッククラブ）、地域に拠点を置くプロダンスチーム

●経過

令和6年度の中野区ダンスクラブのモデル実施後の、生徒ヒアリングでヒップホップ系のダンスにニーズが高いことが分かった。そのため、地域に拠点を置くプロダンスチームと連携した指導体制について検討を行った。また、行政主導地域クラブ活動の他種目の検討を行った。

●実施にあたって生じた課題

生徒のニーズに合った内容、実施回数の確保
受益者負担について

●実施内容、工夫した点等

・今年度のモデル実施をもとに、参加者に直接ヒアリングを行い、次年度の内容を検討した。
・持続可能な指導体制の構築に向けて地域の団体・人材との連携を深めた。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

①顧問教員単独型			
	令和5年度	→	令和8年度
状態	ほとんどの教員が顧問	「一部負担に感じている」77人、「あまり感じていない」35人、「感じていない」12人の教員を顧問	部活動指導ができる教員が顧問
見込み数	230人		124人
※一部負担に感じている要因として、「教員が単独で指導していること」や「活動日数が多いこと」がある。今後、担当する顧問の調整やガイドラインの見直し等で解消する。			
②外部指導員配置型			
	令和5年度	→	令和8年度
状態	各学校が見つけた人材を配置	負担に「感じている」106人が顧問の部活動の3分の2に2人配置	各学校に約15名配置
見込み数	69人		140人
③部活動指導員配置型			
	令和5年度	→	令和8年度
状態	各学校に2名配置	負担に「感じている」106人が顧問の部活動の3分の1に1人配置	各学校に4名配置
見込み数	13人		36人
※人材確保や必要経費等の観点から外部指導員と部活動指導員の配置の割合を決めた。			
(2) 行政主導地域クラブ活動			
到達目標：希望者が多い合同部活動を3つ設置する。			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
状態	希望者が1番目に多い部活動を設置	希望者が2番目に多い部活動を設置	希望者が3番目に多い部活動を設置
見込み数	1部活動(ダンス)	2部活動(陸上)	3部活動(プログラミング)

※出典 中野区教育委員会事務局 指導室